

会 議 録

会議の名称	第五次座間市総合計画策定に係る地区別懇談会 【さがみ野、東原、ひばりが丘、南栗原】		
開催日時	令和3年11月12日（金） 19時00分～21時00分		
開催場所	東地区文化センター		
出席者	【市】 佐藤市長、三浦副市長、大木企画財政部長 【参加者】 市内在住、在学、在勤の方 28人		
事務局	企画財政部企画政策課		
会議の公開可否	■公開 □一部公開 □非公開	傍聴者数	一人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議 題	これからの座間市についての意見交換		
資料の名称	次第 これからの座間市について 補足資料 第四次座間市総合計画の取組結果（一部抜粋）		
会議の結果			
	意見交換		
議事の詳細			
	別紙のとおり		

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 「これからの座間市について」説明

} 別ファイルにまとめています。

4. 意見交換

【コンサルタント】

それでは、意見交換に移りたいと思います。御意見のある方は、挙手をお願いいたします。

【参加者】

さがみ野の〇〇と申します。私はさがみ野で布団屋を営業しているのですが、ここ数年、例えばその東地区文化センターの信号、非常に車の量が増えたなど感じています。周辺の住宅街の中や、芹沢の東地区文化センターの一方通行の道路、先に行くと対面通行になっていますけれど、芹沢地区の車、非常に数年前に比べると量が増えていると、信号での渋滞も多くなってきたと感じます。東地区文化センターから一つ横浜寄りの東原四丁目の交差点ですが、非常に渋滞が頻発化しています。渋滞の数が多くなってきています。これから物流センターも新しくできるといことで、おそらく今以上に渋滞が増えるのではないかと思います。この度の計画におきまして、こういった渋滞対策が考慮されているのかお聴きしたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。車が増えて渋滞が頻発していることについて、具体的な場所も含めて御指摘いただきました。その他、渋滞などに関する課題を感じておられる方や、関連する御意見をお持ちの方はいらっしゃいますでしょうか。

【参加者】

南栗原の〇〇です。渋滞に付け加えて、綾瀬のスマート I C が開設して、前の市長の時代から広野大塚線、これは都市計画道路ですが、南林間線も今検討されていると思いますが、これは座間市を東西南北に縦断する大きな道です。渋滞もそうですが、災害の時の一つの大きな道となります。こういうものは確保していかないといけないと思いますけれど、前市長からの連続性ということもあると思いますが、そういうところをどのように考えていらっしゃるのかお聴きしたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他に関連する御意見はございますか。

【参加者】

栗原中央の〇〇です。私は国道のはす向かいの栗原中央の市道38号線の真ん前に住んでいます。本当に、朝夕がすごい渋滞なのですね。次の曲がり角を越えるまで混んでしまっています。やはり、災害があった時にどうするのか。逃げられないですよ。怖くて。向かいの家にも行けないというような環境です。もともと一方通行ですので1台しか通れないはずですが、それが2台並んで、白線を堂々と越えて、歩く所がなくなってしまっている。仕方がないので、私は車と車の間を歩いて帰宅しています。そこしか歩く所がありません。それで、やはり、国との話もあるとは聴きましたが、それは将来的な長い話になるだろうなと思いますので、私は、今年とか明日、一刻一秒、私の危険を守ってもらいたい。もちろん私だけじゃありません。ここから北へ行く皆様が不自由しています。自転車も通れない。そういった現状ですので、やはりあそこは、でも1列にしてしまうともっと渋滞が長引いてしまう。ということは、早く買ってもらうしかないですね。2台を充分停めて歩道もできるような、幅広い道路にしてもらうしかないと思います。それしか安全確保はできないのですよ。そういった予算計上も考えていただければと思います。本当は1列にすればSDGsの脱炭素社会につながって良いと思いますけれど。佐藤市長の地元でイオンもできたので、こちらからの車が相当関わっていると思いますので、そういうことができない現状であれば、やはり道の幅員を広く取っていただく、それも素早いうちに取っていただく、それしかないかなと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。3名の方から御意見いただきました。道路の渋滞対策、災害時や日常の安全確保といった視点です。計画のテーマでは生活環境や都市基盤などに関わる内容かと思えます。市の見解はいかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。それぞれに具体的な道路の御意見だと受け止めさせていただきました。このところ市内の大型商業施設、物流倉庫が増えてきたことなどによって市内が渋滞している課題については、私も担当課も認識しております。その中で、できるところから改良をさせていただきたいと考えております。今ちょうど、246のところの改良などにも随時できるところから進めさせていただく予定でおります。都市計画道路についても御意見をいただきました。都市計画道路についても、財源の確保も含めて進められるところから進めていく、また、計画をした当時からだいぶ期間が経っているということもございますので、そういったところも地元の方々と意見調整をしながら進められるところを進めていくというのが基本的な考え方です。

歩行者の安全確保に関しましても、もちろん、土地の所有者の方の課題などいろいろとございますが、歩行者の安全を確保しながら、できるところはやっていくという姿勢はございます。総合交通対策に関して、それぞれの地区での計画などもありますので、そういったものに従いながら、また、時代の情勢によって環境が変わってきた部分もありますので、そういうことも踏まえながら対応していきたいと考えております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他に御意見はございますか。

【参加者】

今、歩行者の安全確保という話もありましたが、歩道を自転車でスピードを出して走ってくる若者だとかがたいへん多く見られます。私もシルバー人材センターの方でお世話になっている会社に行く間に危険を感じたことがありますし、本当にそこを自転車が通って良いのであれば、青い自転車走行帯のマークがありますよね、そういうことをしていただくとか、やはり歩行者が優先ですから、そういうことも含めてやっていただけるとありがたいなと思っています。南林間の道路には車道の一部に自転車のマークがあります。そういった所をどんどん増やしていただければ、歩行者と自転車の区別もはっきりして良いのかなと思います。一つ、啓蒙活動というか、若い人が本当にルールを知っているのか、道路交通法を知って自転車に乗っているのかどうかわかりませんが、知っていて歩道を走る、車道を走ると自分の身が危険だから歩道を走る、そういうことであれば、歩行者はどうやって守れば良いのでしょうか。一番弱い立場の歩行者が一番危険にさらされています。そういう道路の整備というか、計画的なものをどういうふうにお考えなのかお聞きしたいと思います。東原の〇〇と申します。

【コンサルタント】

ありがとうございます。続けて、二つ前にいる方、お願いします。

【参加者】

東原の〇〇です。まず知っていただきたいのは、座間のまちが大きく変化したことです。昭和40～50年代は、小田急線から西側が座間の中心としてまちを支えている感じでした。しかし、平成から令和にかけて、北にイオン、コストコ、あおば、ベルク、大型商業施設ができたことによって、全く変わってきている訳ですね。さらに、日産自動車も物流にする、東芝機械も物流にする、みんな工場を閉鎖している。東芝機械がちょうど246号に面している。38号線が、言ってみれば、コストコに静岡県など市外から客がきています。そうすると混むから、全部38号線から来てしまいます。ですから、246号と市道との交差点の右左折をちゃんとする、そのためには、東芝機械が今ちょうど物流を作ると言っていますので、座間市が土地を購入するなり協

力してもらって、13号線、14号線の右左折ができるようにすれば、もう少し38号線の車の、昔38号線は農道だったのですよ、それが今幹線道路になっちゃっている、例えば芹沢公園にあっても、芹沢の子どもたちは横断歩道がないから渡れないのですね。こういう事態にもなっている訳ですので、イオンができた時に日産座間工場の協力も得ながら小松原の交差点を改良しましたけれども、東芝機械で更に東部地域の物流が増える訳ですから、土地の一部をやはり協力してもらおうということで、東芝機械そのものも物流ですから道路が改善されればそれだけ自社の利益につながりますしね、そういうことを考えたら、是非、今の道路事情を改善するという点で、企業の協力を得るといふことから見ていただきたいと思います。いずれにしても座間市の現状は、西側はドンキホーテしかないです。大型商業施設というのは。こっちは三つもある訳ですから、物流の集中はすごいです。先日の日曜日などは、全然車が動かない、14号の下り線なども。ひばりが丘に5～10分で行けるはずが、30分かかりました。一般市民には非常に迷惑が掛かっています。芹沢の市道などもどんどん埋まっています。まちの情勢がかなり変わったということを是非捉えていただいて、これからのまちづくりを進めてもらいたいと思います。余談ですが、昔から町長や議長などはみんな小田急線の西側だったのです。今度は市長が小松原で、議長がひばりが丘、まさに座間市が東西逆転してきたことの一つの象徴的な出来事でもありますので、是非、まちづくりをそういう立場でやっていただきたいというふうに思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。関連する御意見のある方はいらっしゃいますか。

では一旦ここまでの道路に関して、歩行者と自動車の分離、交通ルールの啓発、物流増加への対応などについて、市の考えをお聴かせください。

【市長】

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。

今お話ありましたとおり、時代の流れで大型の物流倉庫が増えてきています。県央地域は道路の利便性が良いので物流倉庫業界からは「物流倉庫業界の六本木だ」と言われているくらい大変人気がある場所だと聴いております。そういった中で渋滞の状況が以前よりひどくなっていることは認識しておりますので、時を捉えて、できる限り解消につながるような対応をしていきたいと考えております。

全体的な交通の流れで申しますと、まず南林間線というのが座間市の大きな計画道路でもありますので、そちらの整備も渋滞の一つの解消につながると思っておりますし、道路というところは土地の所有者の皆様の御理解がなければ進みませんし、財源的にもかなり掛かるということもございますが、そういった所も充分に進められるようにしっかりとやっていきたいと考えております。

また、啓発活動のお話がありました。現在でも、小学生の自転車教室をやっていたり、高校等でもそれぞれに取り組んでいただいたりもしていますし、今はちょっとやっていますが、以前は自動車学校の方でママチャリレースというイベントなどもNPO法人、今は社会福祉法人になったのですが、そちらで行われておまして、そういった所で自転車の乗り方教室などもやっていた経緯もございます。機会を捉えて、やはり自転車の乗り方というところは市民の皆様の御協力をいただかなくてはならないところですので、その辺りも警察や交通安全協会の皆様と協力しながら、啓発活動にも取り組んでいきたいと考えております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。それでは1番後ろの方、よろしく申し上げます。

【参加者】

少し話は変わりますが、私は現役リタイアして結構な年齢ですが、コロナの問題です。そろそろ3回目接種ということが計画をされているようですが、1・2回目の時に、私も市のLINEに友達登録をして一生懸命やったのですが、なかなか予約が取れませんでした。私の友達も、高齢になっていますからLINEに馴染みがない年代ですけれども、大変苦勞していました。高齢者が1日でも早く2回目までの接種ができるようにというつもりだったのでしょうけれども、なかなか上手くいかなかったように私には感じられています。3回目はこれまでの教訓を活かして是非、安心が得られるような施策をとっていただきたいなと思います。綾瀬や海老名、大和などはいろいろと工夫したことをやっていたように思います。

もう一つは、介護保険のお世話になる世代になりましたが、1番大事なことは健康年齢を延伸していくことだと思いながら自分自身そういう努力をしながら周りの友達にもいろいろ呼び掛けたりしているのですが、市の介護保険課ではシニアサポーターやフレールサポーター、認知症サポーターなどを養成していますが、私もそういう講習を受けながら青空サロンをやっているのですけれども、介護保険の問題は日本全国の問題でもある訳で、いかに各市町村が市民、町民の健康年齢を延伸していくかということに努力をしていかなければならないと思うのです。市も、介護保険課のみならず全庁的に取り組んでいただきたいと思います。市長が今後どのように進めていくのか関心の深いところですよ。よろしく願いいたします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。二つございました。コロナワクチンの3回目接種に向けて、1・2回目ですら困ったことなどの教訓を活かしてより良い施策を取って欲しいということと、介護保険の面で健康年齢の延伸が大事だという御意見をいただきました。六つのテーマとしては、福祉や健康などの分野に係る御意見だと思います。これに関連する御意見等のある方がいましたらお願いいたします。

【参加者】

東原四丁目の〇〇と申します。私も同じように、市が推進している高齢者の健康維持、介護予防の活動にボランティアとして参加しております。具体的には、先ほどの青空サロンと、サロン丸太小屋の2か所で似たような高齢者向けの活動をしております。それはそれで、今まではスムーズに大勢集まっていたいただいて活動してはりましたが、芹沢公園の内部規定が変わりまして、我々が施設内で運動したりみんなで歌ったりできないことになりました。仕方なく管理棟のそばに集まって、外で運動や歌などの活動をしています。ここからが本題ですが、今の季節は大丈夫ですが、これからの寒い季節や雨天、強風、猛暑などでは必ずしも外では活動しきれないという問題を抱えています。我々も高齢者の健康維持、介護予防を推進する中で研修などを受けて活動していますが、実際の活動の場がないという問題を現場で活動している者として抱えています。やはり、どんどん健康維持の活動をしてくださいねと言うのであれば、実施できる場所づくり、場所の提供も含めて市の方では推進していただきたいなと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。先ほどの御意見に加えて、健康づくり等の活動の場や機会などの課題についてだったと思います。市長いかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。

新型コロナワクチンの3回目接種については、1・2回目のいろいろな反省点を活かしながらできるだけ混乱のないように、市民の皆様にはわかりやすいような形で進めていきたいと思っております。3回目は8か月後と示されております。1・2回目のような一斉集中ではなく少しずつ時期がずれてきますので、その辺りも含めて、1・2回目の反省点も踏まえた形で行っていきたいと考えています。

ワクチン接種の関係で先ほども言っていたいただきましたが、LINEの友達登録が本市はとても増えました。約6万2千人の御登録があります。これが今、大変有効に使われておまして、例えば市役所で朝市をやっていますが、LINEで情報発信させていただきましたら、今までより若い人の来場が増えるなど、有効に活用されています。LINEも有効に使わせていただきつつ、LINEでは難しいという方たちに対してもしっかりと対応ができるような形で進めていきたいと考えております。

健康年齢を延伸していくことについては、本当に超高齢化社会の中でとても大切なことだと思っております。社会保障の負担軽減にもなりますし、皆様方の生きがいにもなりますし、体と心の健康にもつながると思っております。活動の場がなかなかないことや、行政の中で担当の違い

で理解に差があるということもあると思いますので、その辺りはしっかりと横断的に情報共有しながら進めていきたいと考えております。

公園内の案件に関しましては、公園への市民からの苦情が年間1,300件ほどありまして、その度に公園緑政課の担当が昼夜を問わず現場に駆けつけている状況があります。そういった中で、利用される市民の皆様で課題や利用の仕方をしっかり話し合っていていただいて、有意義な公園の場にしていただけると有難いと思っております。今後は、公園の運営の仕方も様々な手法で、例えば指定管理など、民間の力を活かした手法を進めることがこの時代にはふさわしいのかなと考えております。禁止事項が増えると使われない公園になってしまいますし、多くの方が使える公園であれば、いろいろな面で見なければなりません。苦情もいろいろです。例えば、狭い所で声を出しているとコロナ禍で感染症を心配なさる方から苦情が来ます。行政としては、その間に立って両方に対応しなければなりません。そうした課題を整理しながら、場所の確保も含めて全庁的・横断的な対応をしていきたいと考えております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、こちら前から3番目の方、お願いします。

【参加者】

ひばりが丘一丁目の〇〇と申します。実はこの懇談会の情報発信っていうのが今朝聞いて、かみさんのスマホに夕方5時頃入ったそうです、もっと前に話せば、紙面で報道されていればわかったのですが、あまりにも直前過ぎて、もっと早くしたらもっと人数もたくさん入ったと思いますね。時間がなくて来ながら調べましたが、ひばりが丘、東原、さがみ野、南栗原、全部で14,000世帯あるのに、これでは1%未満しか集まっていません。やはり情報をもっと早くしたら、もっともっといろいろな情報を得て、変わったのではないかと思います。

(他の参加者から「早くからありましたよ。」の声)

気がつかなくてすみません。スマホしか見てないもので、スマホでは昨日の5時頃入りました。紙面見てなかったものですから、すみません。

今、公園の話が出ましたが、時間がなくてちょっと調べてきたのですが、座間市の景観計画って言うのですか、平成20年8月に何かあったらしいですね、計画で何をやったのかはわかりませんが、これ無視にしてですね、10年位前に横浜市にある神奈川県の情報センターで調べましたが、座間市の公園のことを読みましたら、神奈川県50選に選ばれています。書いてあったのは、全体で当時神奈川県に3千5百以上の公園があって、その中で座間市の芹沢公園が50選に選ばれたのです。選ばれた50の公園を全て見た人がいて、芹沢公園にはがっかりしたと言うのです。芹沢公園は詐欺だったと書いてありました。もっと他の公園は良いのに、芹沢公園は何もしていない、泥臭い、水がたまっている、おかしいと言うのですね。それを見て神奈川県庁で調べました。芹沢公園は素晴らしい公園だと書いてありました。いつから公園になったかはわか

りませんでした。今回の新しい公園ですね、前の公園は13haあったそうです。新しく作った公園は、いつも見ると子どもたちが遊んでいていっぱいですよ。あれは大成功だと思っています。古い公園は、下の方に菖蒲園がありますけれど、何も植わっていません。水は濁っています。流れているところもドブのようで、オタマジャクシでいっぱいです。

私は公園が好きで、神奈川県いろいろな公園に花が好きなので見に行きます。どの公園に行っても、いろいろな花に特徴があります。例えば大和市の泉の森公園は春頃のシバザクラ、相模原公園や麻溝公園も四季別に見る価値のある公園になっています。座間市の芹沢公園に関しては、とくにこれという特徴がないと思います。

お子さんたちは新しい公園について楽しんでいますが、ある公園に行きましたら、どこかのおばあちゃんや何人かの方がベンチで本を読んでいるのですね、静かな公園で、花がいっぱいですよ。ですから私もいろいろな、平塚とか相模原とか、神奈川県はほとんど行っていますが、座間市の芹沢公園に関しては行って見たいものが特にないです。私も市外のいろいろな公園に行きますけれど、座間市の芹沢公園には今日は何かあるって、やはりこれからはよその市から来るような何かモニュメントっていうか、何かをしないとイケません。がっかりしました。全然、前の公園はほとんど整備されていません。この前行きましたが、ほとんど昔と変わらない。これから春になっていろいろな花が咲きますけれど、何かもっと力を入れて、相模原市や大和市など近隣からも人が来るような公園にしていだければと思っています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。発言の際は、マスクの着用に御協力ください。

座間市の公園は、使われている部分もありますが、もっと市外からも人が来るような公園にしていったらどうかという御意見でした。よろしく願いいたします。

【市長】

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。

芹沢公園は一部が新しくなりました、そこは子どもたちなど多くの方々に大変人気で、訪れる方が増えました。それに伴って芝生や湿地帯の方も、私の肌感覚ですが、以前より増えてきたなと感じております。先ほども少し触れましたが、これからの公園のあり方というところにも関わることかなと思っています。

芹沢公園には緑友会というボランティアの団体の皆様が立ち上げている会があります。そういった所にも御協力いただいて、例えばコスモスを植えて見頃をお知らせしたり、菖蒲の見頃をお知らせしたりしています。更に魅力を高めていくということになりますと、やはりそういった市民の皆様にも協力をしていただきながら、話し合いをしていただいて、魅力的な公園を作っていくという手法がよろしいのかなと私は考えております。

公園の管理についてはもちろん委託という手法もございますし、協定を締結して整備をしていただきながら、ある程度使用方法の自由度を高めるという取組や、様々な手法で市民の方たちと共に公園を作っていくということをやっています。本日いただいた御意見を参考にしながら、更に市民の皆様とともに公園を創り上げていくような形をとっていきたいと思っております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他に御意見はございますか。

【参加者】

南栗原の〇〇と言います。よろしくお願いします。

まちづくりをいろいろ進める時に考えて欲しいのが、周りの都市との連携です。要はいろいろな設備、向こうには良いものがあるけどこっちにはないとか、それなら向こうに行けばいいじゃないかと私は思ってしまう。いろいろな設備も、南栗原だとスカイアリーナは非常に遠いのですね。すぐ近くに海老名の公立体育館がありますが、そこへ行くと料金が高いだとかですね、もう少し近隣との連携を考えて、住民が広く使えるような方向に持って行けないものだろうかと思えます。要は、小さい都市がごちゃごちゃとあって、競い合っている状況です。もっと広い見地からやってはいかがなものかと常日頃思っておりますので、是非そのようなことも考えていただきたいなと思えます。よろしくお願いします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。周辺都市との連携といった視点で、他にも御意見等はございますか。

【参加者】

2度目ですみませんが、コロナの対応の時に、1回目の予約をしたのですね。2回目は当日会場に行って予約しなさいと言われたのです。ところが実際に1回目を受ける時になったら、その場で、無条件で3週間後の同じ曜日・時間で打てますよという素早い対応をしていただきました。そういうことがありましたので、できるだけ素早い対応をお願いしたいなど。いろいろな施策に対しても、やっていただければ、もっともっと座間市が良くなると思えます。お願いします。

【コンサルタント】

先ほどの真ん中の後ろの方は、周辺都市との連携などの話でしょうか。ではお願いします。

【参加者】

ごみの問題です。座間・海老名・綾瀬の3市で高座清掃施設組合を運営していますが、施設自体がだいぶ老朽化してきて、以前から建て直しの話は出ているかと思えますが、それがまだなか

なか進んでいかない、1回私も見学に行かせていただいた時に、もう行けば結構臭いもひどいし、やはり施設自体が老朽化しているなというのが率直な感想でした。16～17年程前に収集体制が変わって、燃やすごみの収集を3回から2回に減らしました。その時、3市は一生懸命取り組んだと思いますし、座間市の広報活動も進んでいたと思いますが、その間にいろいろ、廃油とかも進めていただいて、結構巣ごもりでいろいろごみが出ていると、どこの自治体でも聴いております。それにも対応が必要ですし、SDGsの脱炭素社会の一つとして、やはり建て直しを進めていかないといけないと思います。3市で運営している以上は、やはり海老名・綾瀬ともよく話し合っただけで進めていただきたいと思います。お金がすごくかかるのはわかりますが、そろそろ進めていかないといけないのかなど、計画決定という形でやっていただければ。また市民の理解も必要ですし、理解できる事業じゃないかと思いますが、こういう環境に対しては。そういうことも含めてやっていただければと思います。市長も運営の役員だと思います。そのところがどうなのか、お考えをお聴きしたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。施設利用やごみ問題に関する周辺都市との連携の考え方だっと思います。市長よろしくお願ひします。

【市長】

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。

周辺都市との広域連携については、先日行われた分野別団体懇談会でも、他市にあるスポーツ施設を共通で使わせて貰えないかとの御意見をいただきました。一つの市でたくさんの施設を整備・維持していくのは大変厳しい時代になってきておりますので、そういった広域的な連携も踏まえて今後は考えていきたいと思っております。

御発言があったとおり、本市はごみについては高座清掃施設を3市で運営しております。また、御遺体の火葬については大和斎場ということで、座間・海老名・綾瀬・大和で組合を組織して共同運営をしています。高座清掃施設では今、新しい炉が完成して、計画的にごみを減らす取組をしています。ごみの減量化に関しては、市民の皆様にご協力いただき、本市ではかなり進めさせていただいております。

また、本市では小田急電鉄さんとともにサーキュラー・エコノミーという取組を行っています。ごみの収集車にダブレット端末を積んで、各車の位置と収集量を把握できる仕組みをとっています。それによって効率的にごみを収集できるようになり、剪定枝もプラスで回収できるようになりました。巣ごもりで食べ物のごみが増えましたが、庭の手入れをする方も増えて、剪定枝や刈草のごみも増えました。それを分別回収して市内の企業に持ち込み、バイオマス燃料として資源化をしています。今後とも民間企業などと連携をしながら、ごみの減量化、資源化に取り組んで

いきたいと思っておりますし、高座清掃施設が長く使えるように、今後も3市でしっかりと運営ができるような取組をしていきたいと考えております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、まだ発言されていない方もいらっしゃると思いますが、せっかくの機会ですので、御意見はございませんか。

【参加者】

東原の〇〇です。先ほどの芹沢公園の整備については、子育て世代としては是非進めて欲しいと思いましたが、騒音だと捉える方もいて、世代によっても違いますので、世代間交流も必要だとは思いますが、例えば上の芝生を主に健康寿命延伸のためのエリアに整備したり、子ども子育て世代にという、ちょっとしたエリア分けも必要なのかなとも少し思ったりしています。

今、自治会の班長を初めて受けることになり、芹沢東第2で班長もやり、会計にも関わらせていただいています。今回コロナのこともあってだいぶ退会者が出てしまいました。学校の役員もあって班長が回って来ると大変だから抜けさせて欲しいとか、御家族が亡くなって自分一人から活動への参加が厳しいという方もいました。実際に加入されているメリットを感じないという方も多くて、災害時に具体的に支援を受けられるかどうか不透明なので、じゃあ他に何があるの、今はもうお祭りとかもできないでいるし、自治会の活動も防犯パトロールなどは痛手ではないし、交流のとれる場所もなくて、実際交流もそこまでは、という方も中にはいて、回覧板とかも、情報ツールとしては、今はLINEやHPで情報は得られるから回ってこなくても構わないとか、そういう状況です。できることがどういうことかちょっとわからないですけど、自治会の加入者を増やせたり、退会されないようなメリットが掲げられると良いのですが、例えば地域振興券の購入時に自治会加入者には割引がありますよとか、本当にそういうメリットがあれば入って貰えると思いますが、市長はこれをどうお考えでしょうか。

【コンサルタント】

ありがとうございます。子育ての視点から世代間交流や公園の使い方についてと、自治会加入のメリットについての御提案などをいただきました。市の考えもあるかと思います。いかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。

公園の使い方については、使用される皆様の間での話し合いがよろしいのかなと思います。皆様多分、使いたい所って同じだったりするのですよね。そういう場合には時間帯をずらすなど、利用者間で様々な工夫をしていくことが大切だと思っています。

自治会については、本市は加入率が40%台と大変低く、災害時の対応をはじめ地域福祉においても様々なことが懸念されています。私も自治会やPTAの役員などを経験してきて自分として感じているのは、もちろんある意味煩わしい所もありますが、そこで学ぶこともとても多いということです。様々な考え方や年代の方と多く触れ合うということ、いろいろな意見を聴けるといことが自分自身の人生の幅や見方も広がりました。例えば、高いセミナーに参加して自己啓発などをすること以上に得られるものがあると感じていました。人との出会いがやはり貴重な財産だと思ってやってきましたので、それをそのまま若い人たちに勧めるのはなかなか難しいかもしれませんが、それを伝えていくことも本当に大切だと思っております。

市内の様々なボランティア団体で高齢化が進んでいて、本当に多くの良い活動をしているのに次の世代に引き継げないという状況もあります。少し切り口を変えてみたり情報発信を工夫したりして、若い人たちにも知ってもらい、多世代の交流を深めていくということも大切な視点だと考えております。自治会の加入に関しては、自治会総連合会の役員の皆様としっかりと話し合いをしながら、行政として支援できることに取り組んでいきたいと思っております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他に御意見はございますか。

【参加者】

私は見てのとおり消防団をやっています。連合の理事を5年ほどやらせていただきました。その中で関係したのですが、市長も言われたとおり、ボランティアの人数がどんどん減っていつて、私は南栗原に住んでいますが、防災指導員を長くやってくれていた人もいなくなって、今は空席になっています。我が3-3消防団は8年位前からずっと定員の半数で行っています。

その中で一つ言いたいのは、これは広野台で実際にあったことなのですが、市役所の人に来ていただいて、まあ演説をする訳ですな、地域にとって何々が重要で、自治会に入ってこのような防災活動をとか言って、最後にその連合自治会長が「あの人は自治会に入っていないよ」と。切に願いますが、こちら側に座っている人はボランティアですが、市役所からお金をもらっている人は協力していただけないですかねって、正直。地域で定員が足りないところを埋めていただけないですかね、現実問題として、市役所職員にて。消防団は年齢制限もあるし、相当ハードなものなので選抜はされるでしょうが、防災推進員とか福祉関係のお仕事とか、年齢に上限がないものとか、空きがあったら市役所職員で埋めていただけないですかね、正直。5年間理事をやったことです。旗を振って協力してくださいと言う方が、率先してやっていただけないでしょうか。今日はこれを言いたくて来ました。市長の御意見をお願いします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。後ろの方も関連する御意見ですか、ではお願いします。

【参加者】

同じ消防団に在籍している者です。消防団が13名定員のところを6～7名でやっています。何かあった際に定員がいないと活動ができません。火事や災害、災害の場合は昼夜を問わず起こりますので、全員が集まれるということは多分ありません。集まれる人が集まって活動しに行く、13名いれば6名が来るかも知れない、現状6～7名しかいない中で何人が集まれるか。13名いる中で振るいかけられた人が活動するので、言い方は悪いですが、昔は自営業の方が消防団をやっていたOBの方もいらっしゃると思いますが、今いる7人は全員会社員です。会社員となると、昼の活動がほぼほぼ、メールで「3-3出動」と来ても、行ける人を探すところからになってしまいます。発動できないことがあります。座間市全体の消防団で起きていることだと思います。それを市としてどうしていくか。先ほど自治会の話にもありましたが、消防団に対するメリットは何もありません。市の方から一人当たりいくら出しているでしょと言われればそこまでですが、実際、月2回、1日・15日を年間24日と、春火災・秋火災・年末火災、これで21日、全部で45日です。1ヶ月を4週と考えると、週1回発動している訳ですね。その人数が少ないと、一人当たりの負担がすごいことになってしまいます。定員13人いれば、1日はA班、15日はB班となって、それだけでも軽減されると思うのですね。それを市として、何県か忘れましたが、市の職員が消防団に入ったという所もあります。市の職員がこの座間市でどこが危険か分かる人は多分ほんの一握りだと思います。それも踏まえて、自分は南栗原にすんでいます、傾斜地が多いです。ここ8年の間に土砂崩れが2回ありました。そういうのを市の職員は多分誰も知らない。危機管理の方しか知らないのではないかなと思います。防災マップを道路課の人に持って行ったらわかるか、下水道課に持って行ったらわかるか、多分わからない人の方が多いと思うのですね。それを若い人たちに入っていて、それを市の方でも活用していただいて、それで多分定員は増えていくと思うのです。メリットとして何もないということもありまして、市のボランティアでやっている訳ですけれど、一つの例を挙げると、保育園待機児童があるじゃないですか、そういう時に消防団に入っていたらメリットがあるとか、そういう使い方も良いのではないかと。そうすれば若い男性が年々入って来る訳ですよ、その中で残る人、辞めていく人を振るいかける、そういうふうにしていかないと、正直、南海トラフでこの辺りが壊滅になった時に、果たして6人で何ができるのか、13人いたら何ができるか、そういうのもちょっと考えて、この先の災害に備えて消防団の詰所の人数を多めにしていきたい、市の方でも何かしら考えていただいて、メリットないし、職員ないし、いろいろな意見はあると思いますが、何とか人数を集めたい。もちろん我々も自治会の方を回って働きかけていますが、さすがに限界があります。市の方から、LINEに友達登録をしている6万数千人に座間市消防団を訴えていただければ、そこから何人か来る可能性もある訳なので、それをちょっとお願いしたいなという形ですけれども、市長の御意見をお聴かせください。

【コンサルタント】

ありがとうございます。消防団の課題について、よろしくをお願いします。

【市長】

御意見いただきましてありがとうございます。また本日、消防団の方々にも参加をしていただきまして、本当にありがとうございます。

今もお話がありましたが、消防団員の方たちは、月に2回点検日がございます、域内の消火栓の点検や消防小屋にある機材の操作訓練などをしていただいております。また、大きな災害時や水が出た場合、もちろん火災などにも対応していただいております。今お二人からお話があったとおり、以前は自営業の方が消防団をされることが多かったですが、今はサラリーマンの方が多くいらっしゃいます。本市としては、在勤の消防団と、女性の消防団にも枠を広げました。その辺りの周知や情報発信が足りていない部分もあるかと思っておりますので、LINEの発信等は早急に検討させていただきたいと思っております。

そして、職員の消防団への協力というところですが、御存知のとおり、職員で消防団をしている者も、様々なボランティア活動をしている者もいます。私から強制というのは難しいですが、こういう現状があるということ職員へ折に触れて話していくことはできますので、そういった声掛けなどもしていきたいと思っておりますし、市民の皆様には消防団がどういう活動をしているのか、そして、地域の防災の要であること、本当に皆様ボランティア、年間で少しお金は出ていますが働きに見合ったものなのかという難しいような金額でありますけれども、消防団に限らず、例えば民生委員や保護司など、地域には様々なボランティアがいます。自治会や地区社協にもボランティアで地域福祉に尽力していただいております。そうした皆様のボランティアで地域福祉が支えられているということをお存知でない方がおそらく多いと思っておりますので、どんなボランティアがあって地域が守られているのか、自分たちが安全・安心で暮らせているのはそういった皆様のおかげであるということをお知らせしていかねばならないと思っております。LINEという新しい情報発信のツールもありますので、そういった所も含めて情報発信もしていきたいと思っております。また、消防団員の確保に関しましては、地域の中の例えばPTAなども含めて、つながって行って、地域でどんな活動があるのかを知っていただくことも大切だと思っておりますので、その地域の中で様々な団体が話し合う場を設けて、活動を知っていただくという所に力を入れていきたいと思っております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。終了時間も迫って参りましたので、あと1名か2名位で、御意見のある方はいらっしゃいますか。

【参加者】

相模が丘の〇〇と申します。仕事場がこちらの近くだったので帰りに寄らせていただきました。最初に出た道路に関する事に付随することですけど、歩道を通る自転車のために歩行者の安全が確保されていないというお話が先ほど出て、自転車ユーザーなので、身につまされる思いです。ただ、仕事場がすぐそのコストコの近くですが、そこから相模が丘に自転車で帰る時、日産のフェンスの横、左側通行が本当にもうできない状態ですね。市長も就任前はずっと自転車で走っていたので重々おわかりかと思いますが、本当に危険な道、歩行者の安全確保のために、まず自転車道の整備を一刻も早くしていただきたいと思います。財源確保とか、本当にいろいろ大変なことをクリアしなければ道路整備は進まないと思いますが、もしも車道の自転車道、ちょっと白線が引いてある所を通っても、草が出ていてとても危険な所とかがいっぱいあります。本当に歩行者には本当に申し訳ないと思いながらお話を聴いていたのですけれども、自転車で通れる道を整備していただければ歩行者の安全も確保できるという視点からも、一刻も早く整備していただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【参加者】

歩行者が一番危ないと思うのは、スピードを出してくる自転車ですよ。停まらない、降りない。自転車でも降りて押すなら歩行者になります。そういうルールを知らない人がたくさんいるので、先ほど啓蒙のお願いをしました。自転車にはルールを正しく理解して乗っていただきたい。ルールがわからない、知らない、守らない人というたちは自転車に乗ったらだめですよ。歩道を走るような人は、自転車を使ってはだめです。歩きなさいって言うのですよ、私に言わせれば。その位の気持ちでないと、事故は減らないと思います。賠償金9千万円の事例もありますので、自転車にも歩行者優先を徹底し、歩行者が来たら降りる、行き過ぎたらまた乗るという思いやりあるマナーを、行政だけでなく皆様にも広げていただきたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。あと2名挙手されていた方、前から順にお願いします。

【参加者】

先ほどのことと重複するかもしれませんが、私の家の前の38号線について、市長はできるところからやると言われましたが、3年後、5年後にお宅はまだですよと言われても困りますので、最重要課題としてうちの前はやっていただきたい。

先ほどの話に関連して、そうするとやはり栗原、東原の地区にメイン道路を作るべきだと思うのですよ。246号からコストコへ行く古い桜並木の辺りを、まだ切っていない桜を残念ながら切ってしまうとしょうがないな、それを店側の方にして、で道路を拡幅して、4車線道路ぐらいの道路を、そして相模原まで続くようなダウンとした道路を作らないと、もう解消しないので

はないのかなと思うのですね。それができれば渋滞も防げるし、ここにあるような都市基盤にもなるし、福祉だって広い歩道があれば障がい者も通れますよね。そういう思い切った4車線道路を、国、県も絡めて作っていただきたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。最後に、後ろから2番目の方、よろしくお願いします。

【参加者】

東原一丁目の〇〇です。子育て・教育について市長のお考えをお聞かせいただきたいと思っております。冒頭にありましたまちづくりのテーマの中でも、一番重要ということをお聞きして、私もそう思っております。今年度から自治会にも参加して、子育てしやすいまちづくりにできたらなという思いもあります。うちの前も一歩出れば車にひかれるような道路です。とてもマナーを守っても子どもを自転車に乗せられるような道ではありません。芹沢公園も土日になると、うちは歩いて行けるのですが、駐車場は満車でほとんど多分、遠方から来る方は入れないかなと思います。自動販売機が一つか二つしかありません。例えばゆとりの森大和市、相模原公園にはコンビニや売店がありますが、芹沢公園の近隣にはありませんので、飲食も限られています。以前よりいろいろな遊具ができていますが、一体どこまで発展するのか、それには何年かかるのかというようなことでも見えています。

通勤に関しても、私はさがみ野の方へ自転車で通っていますが、今整備していただいています。かなり年数が掛かっています。学生もお年寄りも通りますが、マナーを守っていてもなかなか工事が進まず、途中は良いですが、なかなか通りづらいのがあります。大型施設もすでに着手されていて、10年後を見据えますと、なかなか子育てしにくい環境になっていくのかなと思っています。逆に、どういう形が子育てしやすい環境か具体的な意見はありませんが、やはり子育てしやすいまちには全世代において活気があると思います。ですから、私も一市民として、市長の御意向を聴いて今後活動していきたいと思うので、是非とも御意見をお願いします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。最後に子育てしやすいまちというテーマもいただきました。道路については、最初の方でも自転車との分離やルールの問題などについて御意見をいただいたかと思っております。一応、意見交換はここまでといたしまして、今の御意見も含めて前段の意見とも関連しますので後ほど市長から総括という形で御意見等についてもコメントいただければと思います。本日いただいた御意見をまとめさせていただきます。

- ・渋滞の解消と道路等の整備について
- ・コロナと3回目の接種について
- ・高齢者の健康づくりについて

- ・魅力的な公園づくりや運営方法について
- ・施設利用やごみ問題など周辺都市との連携について
- ・自治会や消防団などボランティア活動の課題や参加者を増やす方策について
- ・子育てしやすいまちについて

このような御意見をいただきました。そういった御意見も踏まえまして、最後に市長から総括のコメントをいただければと思います。よろしくお願いします。

【市長】

皆様、本日は長い時間にわたりまして、大変貴重な御意見をいただきまして、本当にありがとうございました。今、多くの方々から意見をいただきましたが、道路整備について、本市は相模が丘や小松原、ひばりが丘、東原なども含め、道路が大変狭いという特徴があります。私も自転車で活動してきましたので、通りづらい所があることは認識しています。できる限り自転車道の整備や道路自体の整備も時期を捉えて財源を確保しながら進めていくことが重要だと捉えておりますし、また、モラルの問題では、市民の皆様にも自転車の乗り方のルールを御理解いただくといった啓発をすることも大変重要だと思っています。

地域を今後どのようにしていくかが、今後の座間市を作り上げていく上で大変重要だと思っています。座間市には11の住区のほか学区、自治会の連合会などといったいろいろな区分けがあるので、その辺りも少し整理をしていかなければならないのかなと感じています。まずは市民の皆様にもそのことを御理解いただいて、御納得いただかなければならないというところもあります。

今、コミュニティ・スクールという取組も進めております。子どもたちを地域でどのように育てるか、地域の皆様との協力も含めて、それが地域コミュニティの形成にも役立つきっかけにもなっていくのかなということを感じております。

そういった取組を含めて地域の皆様と地域福祉、そして災害時の対応という所に特に力を入れて、話し合いを進めながらまちづくりを行っていきたくと思っています。そのためには、今までなかったような組み合わせも含めて、地域には企業も、様々な団体もございますので、そういった所が地域の資源として何ができるのか話し合いを進めていくことが重要だと思っています。

分野別懇談会の方でいただいた御意見には、保育園が地域の高齢者の災害時の声掛けや要援護者の手助けなどに協力する計画を地域としていたり、高齢者施設で子どもたちの放課後の学習支援をしていたり、様々な企業の会議室や福祉施設のホールなどを地域の皆様に開放していたりというようなこともありました。そういった情報を共有して今ある資源をフルに有効活用するなど、様々な団体で話し合うことで良い化学反応が起きてくるのではないかと考えています。

教育に関してですが、私は人づくりがとても大切だと思っています。日本の国というものを後世に継承していくためにも、座間市を次の世代に引き継いでいくためにも、人づくりがとても大切だと思っています。そのためにも、地域の皆様と協力し合いながら子どもたちを育てていかなければいけないと思っています。

今、大変子どもたちの家庭環境にも多様性がございまして、様々な困難を抱えているお子さんも多くいらっしゃいます。例えば父子家庭や母子家庭など、休みの日になるとご飯が食べられないという事例もあります。そういったお子さんたちを地域でどのように育てていくかということがとても大切だと思っています。ですが、財源は限られていますので、その財源をいかに有効に使うか、最少の経費で最大の効果を上げていくかが大切です。知恵を出し合いながら皆様と共に座間市の未来を創り上げていきたいと考えております。

「共に創る」と書いて「共創」の社会を目指して、皆様と、日本一元気で楽しいまち、座間を創りあげていきたいと思っておりますので、今後とも御理解、御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【参加者】

すみません、市道38号線のことを一言お願いします。

【市長】

改善を進められるタイミングでしっかり進めていきたいと思っています。

【参加者】

そのタイミングはいつですか。

【市長】

申し訳ないですが、今日この場でいつということをお話しする場ではないので、本日は第五次座間市総合計画に向けて、どのような方向で進めていくのかといった懇談会ですので、御理解をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。本日は限られた時間の中でたくさんの御意見をいただきまして、また、円滑な進行に御協力いただきましてありがとうございます。

それでは、意見交換はここまでといたしまして、進行をお返しいたします。

5. 閉会

別ファイルにまとめています。